**技術・家庭科＜○○分野＞学習指導案**

平成○○年○○月○○日（○）

※基本的に項立てはするが多くは記入しない

※タイトルはＭＳゴシック体太字

※他はＭＳ明朝体

※フォントサイズの基本は10.5ポイント

※表や図内の文字は，最小8ポイント

指 導 者：○○市立○○中学校

教諭　○○　○○

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 指導学級：○年○組○名

会　 場：○○市立○○中学校

**１　題材名「○○○○」　＜○○○に関する技術　(○)○，○＞　←　学習指導要領の指導項目**

**２　題材の指導目標**

※題材を通して育成したい力について説明する。

※学習指導要領の目標，題材観，指導観，育成したい力への結び付きを踏まえる。

※「○○を通して，○○する能力を育成する」など。

※指導計画，指導過程，評価規準作成において，ここで掲げた目標との関連性を踏まえる。

**３　題材について**

(1) 題材観

※題材と，学習指導要領の指導内容・指導項目・指導事項とのかかわり。

※社会的背景を踏まえた記述。

※本題材の特色，どんな内容か。

※本題材をどのように分析しており，どのように扱いたいか。

※どのような力を身に付けるのに役立つのか。有効性と留意点，必要なレディネス等。

(2) 生徒観

※実態調査の結果の分析から判断される生徒の実態。

※これまでの学習状況やレディネス等を踏まえた生徒の実態。

※本題材を扱う上で留意すべき生徒の実態。指導者がとらえている生徒の姿。

※課題や目標となる項目は，数値やグラフで表す。（客観的なデータ）

(3) 指導観

この学習を通して，育成したい力を以下の○つとした。

|  |
| --- |
| 育成したい力◇○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（関心・意欲・態度）＊（工夫・創造）（技能）（知識・理解）についても同様に記入する。＊題材によっては，該当しない観点もあり得る。 |

※本題材の目標と生徒の実態を踏まえて，いかに指導したいのか，教師の思い。

※授業展開，指導の工夫・手だて。

※自分が考える指導の手だてと，身に付けさせたい力。

※指導上の留意点。

(4) 研究主題との関連

宮城県教育研究会「技術・家庭研究部会研究主題」との関連を記す。

「生活で活用できる力」の育成を目指して　～「つながり」を生かす段階の工夫～

※本題材と研究主題や副題との関連性。

※本題材で育成する力と研究主題とのかかわり。

**４　題材の評価規準**

　　題材「○○○○」～副題～

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 生活や技術への関心・意欲・態度 | 生活を工夫し創造する能力 | 生活の技能 | 生活や技術についての知識・理解 |
| ＊題材によっては，評価しない観点もあり得る。 |  |  |  |

※学習指導要領の４観点を踏まえ，題材の学習をとおして育成したい生徒の姿を設定する。

※学習指導要領の指導項目・指導事項と題材の目標との関連性を踏まえる。

※評価規準作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（国立教育政策研究所）を参考に設定する。

**５ 題材の指導内容と評価（題材の指導時数が長い場合は,小題材で作成）**

題材「 ○○○○○」 ○時間　指導項目：○ (○)ア，イ 　(○)ア，イ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 時間 | 時数 | 具体の評価規準 |
| 生活や技術への関心・意欲態度 | 生活を工夫し創造する能力 | 生活の技能 | 生活や技術についての知識・理解 |
| 「 小題材 」(1)指導内容 | １ | １ | ①＜Ａとする状況＞□＜Ｃの生徒への支援＞□＜評価方法＞□ |  |  |  |
| 「 小題材 」(1)指導内容(2)指導内容 | ３ | １ |  |  |  | ②＜Ａとする状況＞□ ＜Ｃの生徒への支援＞□ ＜評価方法＞□ |
| ２ |  |  | ③ | ④ |
| 「 小題材 」(1)指導内容(2)指導内容(3)指導内容 | ４ | １ |  |  |  | ⑤ |
| ２ |  |  | ⑥ |  |
| １ | ⑦ | ⑧ |  |  |

※題材の時数が多い場合は，「小題材の指導内容と評価の計画」にする。

※本時の指導過程の具体の評価規準と連動させる。

※指導内容ごとに，横に①～番号を付け，具体の評価規準を記入する。４観点全てを設定する必要はない。

※評価規準を記入，Ａとする状況と判定の根拠を，＜Ａとする状況＞として記入，＜Ｃとなる生徒への支援＞を記入する。

**６　本時の指導計画**

(1)本時の題材「○○○○」～（必要に応じて）副題～

(2)本時の指導目標　※主な目標を文章または箇条書き。

(3)本時の指導の手だて・工夫　※重要

※本時の目標を達成するための主な手だてや工夫，教師の思いを具体的に記載する。

(4)本時の具体の評価規準（１～２項目）

①　○○○○○○○○○○○○○○○○○○（関心・意欲・態度）

　　 Ａとする状況　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

 Ｃへの手だて　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

 ＊評価方法　　例：ワークシート

　　 ②

※本時の目標を達成した場合に身に付く力。

※評価場面と評価方法を考え，１つか２つ程度設定する。

※５題材の指導内容と評価の計画の評価規準と連動させる。

(5)本時の指導過程　←指導過程はＡ４片面におさめる。

　　　題材名「○○○○○」（○/□時）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 生徒の学習活動 | 学習形態 | ・指導上の留意点＊資料・準備物など | 【指導の視点】□評価計画 |
| 課題把握○分 | １２（本時の目標）○○・・・・・・・・・・・・・・・・・○○ | 一斉 | ＊ワークシート，自己評価カード |  |
| 課題追求○分 | ３（手だて）１～２つ設定・指導上の留意点に教師主体の表現で記入する。例　○○することで，○○させる。○○させることで，○○する。○○させるために○○する。等 | ｸﾞﾙｰﾌﾟ | 【指導の視点】・指導目標を達成するために，教師がどんな指導や支援を行うのかを具体的に記入する。・生活とのつながり，ICT活用，基礎・基本，地域の特性，発展性，言語活動は【　】で囲む。 | 【言語活動】 |
| 課題解決○分 | ４（手だて）○○理解を助けるために，○○を提示する。５（手だて）【中心活動】・授業改善用に振り返りたい，分析したい，見て欲しい等の主な手だてや工夫は分かりやすく囲みで示す。・指導目標を達成するための手だてや工夫を囲みで記入する。・授業改善及び授業を振り返るポイントとして記載する。 | 個別ｸﾞﾙｰﾌﾟ | ・○○させるために○○する。□評価計画・評価方法を明確にする。・評価規準は５と整合性を図る。 | □ワークシート①（関心・意欲・態度） |
| まとめ○分 | ６ | 一斉 |  | 【生活とのつながり】実生活でどのように活用させるか |